

越冬キャベツ・・・Ⅰ

担 当 者 泉谷 雅俊
副 担 当 者 高橋 春貴

試験課題名	品種系統比較試験
目 的	11月どり品種系統の栽培特性と貯蔵性を比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連 携 機 関	士別地区農業改良普及センター JA 北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会キャベツ部会

供試品種 品種

※ 冬駒 (タキイ種苗) ・寒中60 (大学農園) ・寒丸 (大学農園) ・湖月 (タキイ種苗)
S-20 (大学農園) ・寒中70 (大学農園)
99373YR (雪印種苗) ・H651 (ホクレン)

※ 基準品種

耕種概要

土 質 ~ 埴壤土

前 作 ~ ばれいしょ・てんさい

播 種 日 ~ 6月16日 定植日 ~ 7月15日 収穫日 ~ 11月4日

栽植密度 ~ 畦幅 60 cm × 株間 45 cm 3,703 株/10a 当たり

土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P205	K20	Mg0	Ca0
5.7	0.06	32.0	56.0	78.0	529

(2) 土改資材と堆肥 (Kg/10a)

炭カル ~ 300Kg 堆肥 ~ 2,000Kg

(3) 施肥内容 (Kg/10a)

基肥 ~ NS262 (12 - 16 - 12) 100Kg 7月13日 全層施肥

硫 安 (21 - 0 - 0) 25Kg 7月13日 全層施肥

分肥 ~ BBNK20 (20 - 0 - 10) 30Kg 8月25日 側条施肥

(4) 肥料の要素量

(Kg/10a)

		N	P	K	B
基 肥	NS262 100Kg	12.0	16.0	12.0	0.2
	硫安 25Kg	5.2	—	—	—
分 肥	BBNK20 30Kg	6.0	—	3.0	—
合 計		23.2	16.0	15.0	0.2

調査項目

生育調査 ~ 播種日・発芽日・発芽率・定植日・定植時の苗質・結球始期・結球期

収量調査 ~ 総重量・調整重・調整率・規格内収量・慣行比・規格別割合・障害

特性調査 ~ しまり・球径・球高・緑色・球形指数・食感・堅さ・糖度 (Brix)

枯れ葉 11/4 (収穫時) ・ 1/16 ・ 2/15

5 生育調査

項目		品種		冬駒	寒中60	寒丸	湖月	S-20	寒中70	99373YR	H651
播種	種日	6月16日									
発芽	日	7月2日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月2日	7月1日	7月1日		
発芽	率(%)	74.3	86.1	85.7	76.0	92.2	76.0	97.6	94.8		
定植	日	7月15日									
定植時の苗質	葉数(枚)	4.3	4.5	4.3	4.7	4.2	4.0	4.2	4.2		
	葉長(cm)	6.6	6.7	6.5	6.5	6.4	5.8	5.9	6		
結球	始期	8月20日	8月22日	8月21日	8月20日	8月21日	8月22日	8月21日	8月21日		
結球	期	9月14日	9月16日	9月15日	9月14日	9月13日	9月12日	9月14日	9月15日		

6 収量調査

項目		品種		冬駒	寒中60	寒丸	湖月	S-20	寒中70	99373YR	H651
総重量	(Kg/球)	3.12	3.58	4.46	4.16	3.65	3.87	3.60	4.02		
調整重	(Kg/球)	2.10	2.54	2.99	2.90	2.56	2.65	2.48	2.98		
調整率	(%)	67	70	67	69	70	68	68	74		
規格内収量	(Kg/10a)	7,776	9,405	11,071	10,738	9,479	9,812	9,183	11,034		
慣行	比(%)	100	120.9	142.3	138.0	121.9	126.1	118.0	141.8		
規格別割合(%)	3玉~4玉	60	70	90	80	70	80	65	90		
	5玉~6玉	40	30	10	20	30	20	35	10		
	7玉~8玉	0	0	0	0	0	0	0	0		
	9玉~10玉	0	0	0	0	0	0	0	0		
障害(球)	病害虫	0	2	1	1	1	2	0	2		
	裂球	0	0	0	1	0	0	0	0		

※規格 3玉 3.4Kg 以上 4玉 2.5~3.3Kg 5玉 2.0~2.4Kg 6玉 1.7~1.9Kg 7~8玉 1.3~1.6Kg
9~10玉 0.9~1.2Kg

7 特性調査

項目		品種		冬駒	寒中60	寒丸	湖月	S-20	寒中70	99373YR	H651
外観・食味	球品質	しまり(良5~1不良)	4	4	4	4	3	4	3	4	
		球径(cm)	22.3	25.8	23.3	22.2	23.7	23.5	21.1	30.6	
		球高(cm)	15.4	14.3	16.5	14.7	14.6	16.9	13.8	14.0	
		緑色(良5~1不良)	3	3	3	2	2	3	2	3	
		球形指数(%)	69	55	71	66	62	72	65	46	
	食味	食感(良5~1不良)	3	4	3	3	2	3	3	3	
硬さ(良5~1不良)		3	3	3	3	2	3	2	3		
11月4日	枯れ葉	0	1	0	0	1	3	0	0		
調査	糖度(Brix)	8.1	7	5.3	7.6	6.6	7.1	7.1	7.2		
1月16日	枯れ葉	1	(3)	3	0	(1)	3	1	0		
調査	糖度(Brix)	8.8	7.5	7.5	8.2	8.8	9.4	9.0	8.4		
2月15日	枯れ葉	1	(1)	3	0	(1)	0	(1)	0		
調査	糖度(Brix)	7.6	7.8	7.9	8.5	8.2	9.7	8.1	7.8		

枯れ葉(多い3~無し0) 枯れ葉の()は脈害

8 病害虫防除履歴

殺菌剤			殺虫剤		
8月5日	スターナ水和剤	1,000倍	7月14日	オンコルマイクロナフセル	100倍
8月30日	サントファンC水和剤	1,000倍	8月5日	トレボンEW	1,000倍
9月28日	ダニール1000乳剤	1,000倍	8月17日	エルサン乳剤	1,000倍
10月7日	スミックス水和剤	2,000倍	8月30日	オムラン水和剤	1,000倍
11月21日	トップジンM水和剤	1,000倍	9月6日	モスピラン水溶剤	1,000倍
			9月12日	ランネット45DF	1,000倍
			9月22日	オムラン水和剤	1,000倍
			9月28日	マブリック水和剤20	1,000倍
			10月7日	スピノエース顆粒水和剤	2,500倍

9 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 6月16日に128穴セル成型トレーにプラグエースを使い播種。発芽率は、寒中60が86.1%、寒丸が85.7%、S-20が92.2%、99373YRが97.6%、H651が94.8%あったが、冬駒が74.3%、湖月が76.0%、寒中70が76.0%という結果となった。発芽率の低かった原因は、風が入り、パオパオで撫でられたような倒れ方をした影響と思われる。
- ② 7月14日にオンコルマイクロカプセルを全品種にまき、7月15日に全品種定植を実施した。
- ③ 結球は8月20日に冬駒、湖月が始まり、1日遅れて寒丸、S-20、99373YR、H651の結球が始まった。寒中60、寒中70の結球は、8月22日となった。

(2) 収穫調査結果

- ① 11月4日に全品種の収量調査を実施した。10a 当たり調整収量は基準品種の冬駒が7,776Kg に対して、他の品種は寒丸が11,071Kg、H651が11,034Kg、湖月が10,738Kg と生産収量が全品種共に高い結果となった。
- ② 規格内割合で見ると寒丸とH651をはじめ、他の品種も3球から4球が中心だった。調整率は冬駒と寒丸が67%でH651は74%と高く、他の品種は68%以上で良好な結果となった。

(3) 特性調査結果

- ① 球品質のしまりは冬駒の4(良5~不良1)に対して、99373YRは3となり、S-20でも3と冬駒よりはやや劣っていた。
- ② 食味の食感と堅さは、基準品種の冬駒の3(良5~不良1)に対して、寒中60は4と最も良好だった。
- ③ 収穫時の枯れ葉は、寒中60、S-20に少し見られ、寒中70に多く見られた。他の品種は全く見られなかった。
- ④ 糖度は、寒丸が他の品種に比べ、7度以下とやや劣っていたが、他の品種は7度以上と良好だった。

(4) 考察

収穫時の11月4日には冬駒、寒丸、湖月、99373YR、H651には枯れ葉がなく、食味も良く優れた結果となった。1月16日調査でも湖月、H651には枯れ葉の発生がなかったが、冬駒、寒丸、99373YRには発生が確認された。寒中60には脈害の発生も確認された。2月15日の調査では、H651には枯れ葉の発生がなかった。冬駒、寒丸、S-20、99373YRに枯れ葉の発生が確認せられ、寒中60とS-20には、脈害の発生が確認された。